

# 歴史における周縁と共生

—女性・穢れ・衛生—

鈴木則子 編

2014年1月刊行

▶ A5判・368頁／定価 7,140円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1714-4

本論集では、日本の歴史のなかで女性の周縁化(地位の劣化)が進行していく過程を、その身体に対する認識の歴史的变化に着目しつつ、宗教／儀礼／穢れ／医学／衛生という、主として五つの側面から検討をくわえ、明らかにする。

仏教と神道等の諸宗教における女性認識の諸相、血穢などに対する地域社会の対応の展開、伝統的医学・近代医学双方からみた病氣や女性身体観の変容、近代衛生思想における女性役割の位置づけ等について、新しい視点から提示した共同研究の成果。

◎予定内容目次◎

序 文

I 宗教／儀礼／穢れ

善光寺と女人罪業観

(大阪大学大学院文学研究科教授)

平 雅行

富士講・不二道の女性不浄観批判

―妊娠と出産についての言説を中心に―

(恵泉女学園大学人間社会学部教授)

宮崎ふみ子

奈良の伝統的祭礼と女性―歴史民俗学的視座からの分析―

(奈良女子大学文学部教授)

武藤康弘

古代浴衣復元のための覚え書き

(大阪大学大学院文学研究科・文学部教授)

武田佐知子

女性と穢れ―『玉葉』をてがかりとして―

(滋賀県立大学大学院人間文化学研究所博士後期課程修了)

加藤美恵子

宗教都市におけるケガレの操作と「清浄」概念の共有

(皇學館大学・帝塚山大学非常勤講師)

濱千代早由美

近世における北野社門前の社会構造

―芸能・茶屋興行を中心に―

(立命館大学文学部准教授)

三枝暁子

II 医学／衛生

中国医学における感染症認識

(東北芸術工科大学デザイン工学部教授)

白杉悦雄

江戸の結核―恋の病考―

鈴木則子

衛生思想の中の女性

(茨城大学教育学部教授)

瀧澤利行

眼の感染症にみられる女性観―眼の通俗衛生と女性―

(大阪大学特任准教授)

尾鍋智子

規範としての「自然」―江戸時代の育児書を手がかりに―

(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

梶合真司

不妊の原因としての淋病

―明治・大正期の庶民の生殖観の変化と買春の問題化―

(大阪大学大学院文学研究科助教)

林 葉子

『青鞵』への道―保持研と南湖院―

(東京女子大学他非常勤講師)

池川玲子

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行: 思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	歴史における周縁と共生	本体6,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1714-4
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)			
			本書HPのQRコード	書店番線印

## ※日本梅毒史の研究 医療・社会・国家

福田眞人・鈴木則子編

ペニシリンの出現で「過去の病」のイメージすらある梅毒だが一。いまなぜ梅毒か。日本人は自らの身体や性、性感染症とどう対峙してきたのか。「家」・共同体・国家、さらに国際社会がどのような形でそれに介入し、その態度を変容させてきたのか。これらのテーマをめぐって専門領域を異にする研究者が行なった共同研究の成果9篇を収める。

▶A5判・392頁／定価7,350円

ISBN4-7842-1247-7

## ※中国における妊娠・胎発生論の歴史

中村禎里著

生命そのものに対する日本人の理解の歴史を探るための前提となる、中国文化およびインド仏教における妊娠・胎発生論の歴史を通史的に叙述。生から死に移る過程や死観に集中している日本の生命観の研究に一石を投じる。

▶A6判・256頁／定価2,940円

ISBN4-7842-1295-7

## ※京の民間医療信仰

奥沢康正著

安産、長寿、病氣平癒祈願など、先端医療技術の発達した現代でも神仏の加護を願う信仰は根強く生きている。本書は、京都の眼科医が市内の寺社の民間医療信仰を紹介した異色の京都案内。170の寺社の御利益やその歴史的背景を、地図や写真も交えながら紹介し、現代における信仰のあり様などを考察する。

▶A5判・340頁／定価2,940円

ISBN4-7842-0642-6

## 医療福祉の祖・長与専齋

外山幹夫著

日本近代の医療・衛生・福祉の確立者ともいうべき長与専齋の生涯に焦点をあて、明治新政府の政策のなかで近代医療福祉制度がどのように整備されていったのか、専齋の果たした功績に即して紹介。長与専齋とその家族・交友関係など幅広い視点から、医療の世界における“明治維新”を地元大学の歴史家が描く。

▶A6判・200頁／定価2,100円

ISBN4-7842-1107-1

## 中世京都文化の周縁

川嶋将生著

思文閣史学叢書

「近世都市」へと変貌を遂げていく中世京都の姿を、洛中洛外図や祇園会の記録を通し、また声聞師・庭者など室町文化を支えた都市周縁の非人たちの動向と合わせて論じ、上層町衆と新興町人との世代交代という、中世から近世への明らかな時代転換が見られる寛永文化に目を注ぐ。

▶A5判・430頁／定価8,190円

ISBN4-7842-0717-1

## 着衣する身体と女性の周縁化

武田佐知子編

着衣という共通の素材を通して、さまざまな社会におけるジェンダーのあり方を考察。グローバルな視点から、衣服と身体の表象について解き明かす論文集。取り上げる素材は、「民族衣装」「魔女」「リカちゃん人形」「マイケル・ジャクソン」等、多岐にわたる一書。

▶A5判・500頁／定価6,090円

ISBN978-4-7842-1616-1

## ※京都の女性史

京都橋女子大学女性歴史文化研究所編

平安時代から近代まで、京都に生きた女性に視点を据えた論文8本を収める。同研究所に所蔵されている『遊客名簿』の分析を通してこれまであまり取り上げられてこなかった近代京都の遊郭について明らかにした論文など、最新の研究成果が盛り込まれている。

▶A5判・242頁／定価2,520円

ISBN4-7842-1123-3

## 原田伴彦論集 [全5巻]

原田伴彦著

「著作集」に収載しなかった学術論文を編集し、各分野で第一線の研究者による解説を付した。原田史学の集大成。

第1巻 都市発達史研究(脇田晴子解説)／第2巻 都市形態史研究(矢守一彦解説)／第3巻 都市社会史研究(脇田修解説)／第4巻 部落差別史研究(横井清解説)／第5巻 文化芸能史研究(熊倉功夫解説)

▶A5判・平均400頁／各定価7,140円

## 医療の社会史 生・老・病・死

京都橋大学女性歴史文化研究所編

京都橋大学女性歴史文化研究所の研究プロジェクトの成果のひとつで、医療の社会的展開が通史的にうかがえるようにすることを企図した論文9本・コラム4本を収録。【内容】平安中後期における貴族と医師／鎌倉幕府の医師／『本草綱目』に見る中国医療の到達点／室町・戦国期の山科家の医療と「家業」の形成 他

▶A5判・304頁／定価2,940円

ISBN978-4-7842-1677-2

## 京都療病院お雇い医師シヨイベ

森本武利編著／酒井謙一訳

滞日書簡から

治療・教育・研究にあたって優れた成果を挙げたドイツ人のお雇い医師シヨイベ(1853-1923)。滞日中(1877-1881)に母へ送った書簡の翻訳を通して、シヨイベの生涯をはじめ、ほかのお雇い外国人達との交流や居留地での生活から明治初期の京都の風俗にいたるまでを、生き生きとよみがえらせる。

▶A5判・346頁／定価7,350円

ISBN978-4-7842-1581-2

## 近代京都の施薬院

八木聖弥著

奈良時代に貧窮病者を救済する為に設置された「施薬院」。明治維新から大正期にかけて、京都の貧困者への医療普及を目指した安藤精軒がとった手段が「施薬院」の復興であった。この「施薬院」を中心とした京都界隈の歴史を描き出し、近代化していく日本の一側面を考察する。

▶A5判・304頁／定価3,675円

ISBN978-4-7842-1705-2

## 新装版 富士川游著作集 [全10巻]

富士川英郎編

日本医学史という前人未踏の分野に挑み、疫病史とともに、日本医学史を体系化した博士の膨大な論著の中から、医学史関係の著作・伝記・考証類を全10巻に収めた。

▶A5判・平均500頁／定価94,500円

ISBN978-4-7842-1586-7

※附属総合教育センター(TEL:03-5844-3041)の専売商品です。

## 周縁文化と身分制

脇田晴子・マーチン・コルカット・平雅行編

周縁部分をテーマとすることによって、新たな前近代社会像を多面的に浮き彫りにする12篇。各時代に存在する差別的構造的性質を明らかにすることは、その時代の社会全体のあり方を解明することに連なる、との視点から、方法を異にする目米の気鋭の研究者の討論を踏まえた成果。

▶A5判・350頁／定価5,775円

ISBN4-7842-1231-0

## ※散所・声聞師・舞々の研究

世界人権問題研究センター編

散所の人々が携わった芸能あるいは陰陽道などのかかわりを含め、文献・絵画・地図の綿密な分析をこころみ、洛中・山城国・近江国における実態を浮きぼりにする。共同研究のまとめとしての座談会のほか、研究ツールとしての年表・文献目録・基本史料を収録、古代・中世社会の研究にとって欠くことのできない基本文献。

▶A5判・590頁／定価8,610円

ISBN4-7842-1219-1

## 京都文化の伝播と地域社会

源城政好著

思文閣史学叢書

京都とその近郊の中世文化史に取り組んできた著者が、今までの成果をまとめた一書。在地(荘園)をめぐる動向、公武の芸文交流と伝播、さらに河原者・声聞師の被差別民衆の諸相と室町・戦国期の人物論を収めた。

▶A5判・400頁／定価8,190円

ISBN4-7842-1325-2

## 日本中世の社会と寺社

細川涼一著

律宗・律僧が中世社会で果たした役割を中心に、女性や被差別民など、歴史の主流からこぼれ落ちがちなものたちへ常にまなざしを注ぎ、境界領域から歴史を問い続けてきた著者の主要な研究成果を一書にまとめる。

▶A5判・452頁／定価8,085円

ISBN978-4-7842-1670-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料で送っています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。